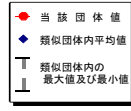


# (3) 市町村財政比較分析表(普通会計決算)

平成23年度

鹿児島県鹿児島市

人口	605,120人 (H24.3.31現在)	実質赤字比率	-%
歳入	547,077千円	通算実質赤字比率	-%
歳出	236,342,725千円	実質公債費比率	5.6%
実収支差	228,067,412千円	将来負担比率	29.6%
標準財政規模	6,625,850千円	市町村類型	H19 中核市 H20 中核市 H21 中核市 H22 中核市 H23 中核市
地方債現在高	126,756,573千円	(年度毎)	
	262,275,342千円		

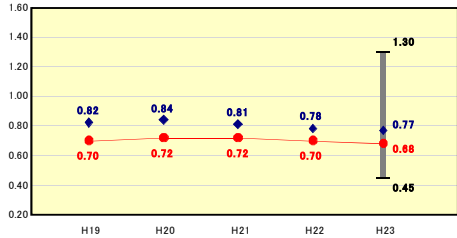


※市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。  
 ※平成24年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく(実質公債費比率及び将来負担比率を算出していない)団体については、グラフを表記しない。  
 ※充当可能財源等が将来負担額を上回っている団体については、将来負担比率のグラフを表記しない。  
 ※類似団体内平均値は、充当可能財源等が将来負担額を上回っている団体を含めた加重平均であるため、最小値を下回ることがある。  
 ※「人件費・物件費等の状況」の決算額は、人件費、物件費及び維持補修費の合計である。ただし、人件費には事業費支弁人件費を含み、退職金は含まない。

## 財政力

### 財政力指数 [0.68]

類似団体内順位 29/41 全国平均 0.51 鹿児島県平均 0.27

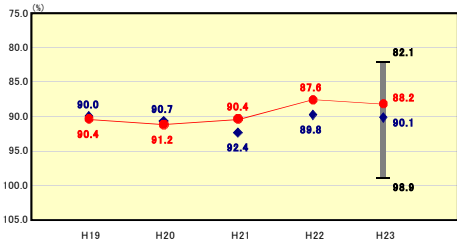


**財政力指数の分析欄**  
 市税などの自主財源が乏しく地方交付税や国庫補助負担金への依存度が高い財政構造にあり、類似団体平均値より低くなっているが、一定の率で推移してきている。  
 今後も事務事業の抜本的な見直しと整理合理化を図るとともに、市税などの自主財源の確保に努める。

## 財政構造の弾力性

### 経常収支比率 [88.2%]

類似団体内順位 12/41 全国平均 80.3 鹿児島県平均 88.9

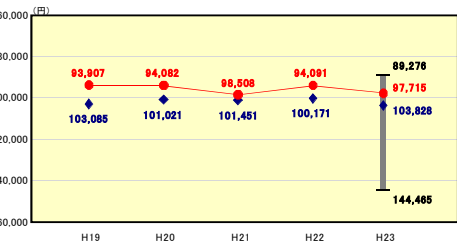


**経常収支比率の分析欄**  
 類似団体平均値より低い数値で改善傾向にあるが、社会保障関係経費の増加等の影響により依然として厳しい状況にあることから、財政運営の弾力性を確保するため、今後とも自主財源の確保に努めるほか、市債借入額を元金償還金の範囲内に抑制すること等による公債費の縮減、人件費の抑制、行政改革の推進などによる一般行政経費のさらなる削減に努める。

## 人件費・物件費等の状況

### 人口1人当たり人件費・物件費等決算額 [97,715円]

類似団体内順位 11/41 全国平均 119,477 鹿児島県平均 128,859

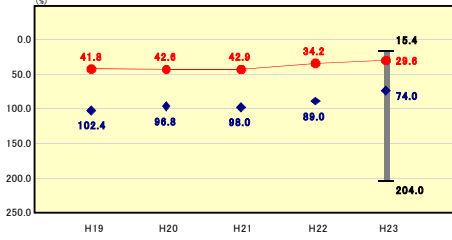


**人口1人当たり人件費・物件費等決算額の分析欄**  
 類似団体と比較して、主に人件費が低いことなどから類似団体平均値より低くなっている。  
 これは人口1,000人当たり職員数が類似都市と比較して少ないことなどによるものである。  
 今後も行政改革の推進により、基本的な行政コストの縮減に努める。

## 将来負担の状況

### 将来負担比率 [29.6%]

類似団体内順位 10/41 全国平均 68.2 鹿児島県平均 49.3

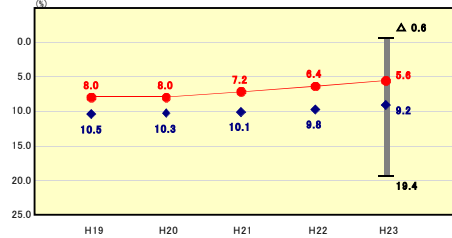


**将来負担比率の分析欄**  
 類似団体平均値より大幅に低く、健全度は確保されていると考えている。  
 今後も公債費等の義務的経費の削減、行政改革の推進などにより、財政の健全化に努める。

## 公債費負担の状況

### 実質公債費比率 [5.6%]

類似団体内順位 7/41 全国平均 9.9 鹿児島県平均 10.5

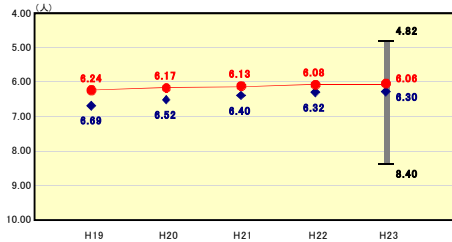


**実質公債費比率の分析欄**  
 類似団体平均値より大幅に低く、公債費負担の健全度は確保されていると考えている。  
 今後も公債費の削減等により財政の健全化に努める。

## 定員管理の状況

### 人口千人当たり職員数 [6.06人]

類似団体内順位 17/41 全国平均 7.17 鹿児島県平均 8.71

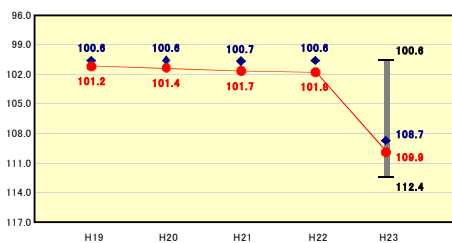


**人口千人当たり職員数の分析欄**  
 本市では集中改革プランを策定する以前から職員数の削減に努めており、集中改革プランにおける取組みにおいても、目標を上回る職員数を削減したところである(目標:△286人→実績:△291人)。  
 なお、平成22年3月に策定した新たな行政改革大綱及び実施計画(推進期間は、平成22～26年度)に基づき、業務の効率化や業務量の変化等に応じた職員定数の見直しを毎年度行い、適正な定員管理を推進している。

## 給与水準(国との比較)

### ラスパイレース指数 [109.9]

類似団体内順位 33/41 全国市平均 106.9 全国町村平均 103.3



**ラスパイレース指数の分析欄**  
 本市では人事院勧告に準じた給与改定を行っており、特に指数の上昇につながる改定は行っていない。  
 このため、給与水準の比較的高い職員の退職により、今後、徐々に指数は下降していくものと予想している。  
 なお、24年度は、国において給与減額措置が講じられたことから、ラスパイレース指数が急激に上昇している。